

# 大学におけるオンライン授業の 緊急導入に関する調査報告書

eラーニング戦略研究所  
eLearning Strategy Research Institute

株式会社デジタル・ナレッジ <https://www.digital-knowledge.co.jp/>

# 目 次

1. 調査概要 .....	3
2. まとめ .....	5
3. 本調査結果のポイント .....	6
4. アンケート調査結果 .....	10
5. 調査データ ～地域別クロス表～ .....	29
6. 調査データ ～国公立・私立別クロス表～ .....	49

# 1. 調査概要

## 調査概要

- 調査目的** : 新型コロナウイルスの感染拡大を受けて2020年前半に緊急導入された、大学におけるオンライン授業の現状と課題を調査する
- 調査期間** : 2020年6月4日(木)～6月8日(月)
- 調査方法** : Webアンケート方式
- 調査地区** : 全国
- 調査対象** : 大学職員・教員100名

## 調査項目

1. オンライン授業の実施有無
2. オンライン授業の導入時期
3. オンライン授業の導入にあたり行った準備・対応
4. オンライン授業の実施範囲
5. オンライン授業の形式
6. 実習系の授業をどのように実施しているか
7. 講義系・実習系の定期試験をどのように行うか
8. 学生の受講環境
9. 使用しているウェブ会議システムや授業支援システム
10. 実際にオンライン授業を実施して大変だったこと
11. オンライン授業を「検討中」の理由
12. オンライン授業を「実施予定なし」の理由
13. 授業をオンライン化することで期待できる効果やメリット
14. 新型コロナウイルスの感染拡大を機に大学の授業運営はどのように変化したか

## 回答者属性

**性別内訳**：男性 74名 (74%)、女性26名(26%)

**年代別内訳**：20代 3名(3%)、30代 10名(10%)、40代 26名(26%)、50代 37名(37%)、60代 24名(24%)

**地域内訳**：北海道2名(2%)、東北6名(6%)、関東43名(43%)、中部12名(12%)、近畿16名(16%)、中国7名(7%)、四国3名(3%)、九州11名(11%)

**国公立・私立別**：国公立36名(36%)、私立64名(64%)

## 2. まとめ

2020年初め、突如として猛威をふるった新型コロナウイルスの影響により学校は臨時休校に追い込まれ、これまで当たり前に行われていた授業の継続が難しくなりました。こうした状況の中、急速に導入が進んだのがインターネットを利用したオンライン授業です。eラーニング戦略研究所は2020年6月、全国の大学教職員を対象に、大学におけるオンライン授業の現状と課題を調査しました。

その結果、オンライン授業の実施率は97%に上り、大学教育現場におけるオンライン授業の導入が全国的に進んでいることが明らかとなりました。導入時期は「2020年3月以前」の4.2%に対し「2020年4月～5月」は93.7%と急増しており、コロナを機にオンライン授業への移行が一気に進んだ様子が読み取れます。

一方で、緊急導入されたオンライン授業は多くの課題を浮き彫りにしています。主なポイントは、(1)学生のICT環境不足、(2)教員のオンライン授業への対応力、(3)新しい大学教育の在り方の3点です。

(1)に関しては、スマホしか持たない学生にPCを貸与したり、ネット環境整備費を助成したりと独自の支援策を打ち出している大学も見られました。文部科学省も「1人1台端末計画」を前倒しし今年度中に実施すると2020年5月に発表しており、遅れていたICT環境整備が進むことでこうした問題の改善が期待されます。

(2)は、とくにオンライン授業の場合、教員のスキルや工夫によって教材や授業に差が付きやすいという傾向があります。ICTツールを効果的に使いこなせるか、オンライン授業特有の指導法を確立できるかなど、教員力や対応力がこれまで以上に問われることとなります。

また、アンケートでは90分1コマの準備に15時間かかったという教員がいました。これは一見すると(2)の教員力の問題に見えますが、「学校側から使用ソフト・ファイル形式等の指定があったため以前の教材を流用できず」とあることから、大学の方針によって大きく左右されるということがわかります。今後、どのような教材を使用するのか、オンラインと対面をどのように使い分けていくのか、実習系授業をいかに実施していくのかなど、教育全体をどうデザインして学びを担保していくのか、(3)の新しい教育の在り方が大学に問われています。

課題は山積していますが、それでも今後は授業のオンライン化がさらに進み、オンラインと対面のハイブリッドが一般的になると見る大学が多かった今回のアンケート。今後は各教員、各大学が実践した取り組みや事例が失敗も含めシェアされ改善されていくことで、これからの教育、そして社会の発展につながることを期待されます。

## 3. 本調査結果のポイント

### ■ オンライン授業の実施率97%、多くが2020年4～5月に“緊急導入”

最初に、勤務する大学でオンライン授業を実施しているかどうかを尋ねたところ、97%が「実施している」と回答した。

地域や国公立・私立による差異はほとんどなく、全国的に導入が進んでいる。

オンライン授業を始めた時期は、「2020年3月以前」の4.2%に対し「2020年4月～5月」は93.7%と急増している。詳しく見ると、3月以前にオンライン授業を実施していたのは、関東、近畿、九州地方の大学のみで、国公立1校、私立でもわずか3校だった。それが、緊急事態宣言が発令された4月には中部地方の大学の9割超がオンライン授業を導入し、5月には北海道の大学がわずかひと月でオンライン授業導入を100%完了している。

このことから新型コロナウイルスの感染拡大の影響を受け、インターネットを活用したオンライン授業の導入が全国の大学で一気に進んだことが読み取れる。

ちなみに、オンライン授業導入にあたり行った準備として「大学の環境・システム整備」を挙げたのは27.8%に留まっており、大学でのICT環境整備は小中高校とは異なり、思いのほか進んでいた印象だ。

また、7割の大学では「全学年のすべての単位がオンライン授業で取得可能」となっている。

「一部の単位を取得可能」まで範囲を広げると、ほぼすべての大学でオンライン授業により問題なく単位を取得できるようになっているようだ。

## ■ 実習系授業は「オンラインで実施」「対面で実施」が拮抗、一方で「実施しない」も3割

各大学で行われているオンライン授業形式のツートップは、「授業録画配信(オンデマンド型)」77.3%、「ライブ授業配信(同時双方向型)」76.3%。次いで「資料配信」62.9%、「ウェブ会議システムを使ったディスカッション」36.1%などとなった。

定期試験については「レポート提出」52.6%、「オンラインテスト形式」36.1%での実施が主流だ。

ところで、オンライン授業における課題のひとつに、実習系の授業をいかにして行うかというものがある。アンケートの結果、実習系の授業を「オンラインで行う」は36.1%、「学校で対面で行う」は37.1%とほぼ同率だった。オンラインで行う際は、ウェブ会議システムを利用したり、動画視聴後にレポート提出などを行っている。対面で行う際は、人数制限をして三密を避けるなど感染防止策が徹底されているようだ。一方で「実施しない」も32%。大学や科目によって実施できない内容も多いことがうかがえる。

また、実習系の定期試験については現時点では「未定」39.2%、「実施しない」36.1%が多数派となっており、平常時とは大きく異なる実態が浮き彫りとなっている。

## ■ オンライン授業、実際に実施して見えてきた課題とは？

実際にオンライン授業を始めてみると多くの課題が見えてきた。

第一は「ICT環境の整備不足」だ。これは主に学生側の問題で、「自宅の通信環境や端末によって学生の受講状況が大きく左右される（北海道・私立）」という指摘が多かった。たとえば、システムになかなか入れなかったり、途中で授業画面がストップしたりといった具合だ。そうした場合の出欠管理や課題提出方法にも課題が残る。「はじめの頃はシステムのトラブルが多く学生からの質問がたくさんあり対応が大変だった（中国・私立）」など、ICT環境不足に起因する教職員の業務増加も大きな負担となっている。

第二は「教材作成・授業準備」。オンライン授業のための教材作りがとにかく大変だという意見が大半を占めた。とくに慣れない動画教材に苦戦している教員が多く、撮り直しなどで思わぬ時間がかかっているようだ。授業準備についても「今までと全く違う（中部・私立）」「準備とフォローで万年サービス残業。体を壊しそう（関東・国公立）」など厳しい状況がうかがえる。

第三は「教員の対応力」。教職員によってICTリテラシー等にバラつきがあり、教材や授業レベルに優劣が出てしまうという問題だ。「カメラをオフされるとPCに向かって独りで喋る形になるのでペース配分等が難しい（近畿・私立）」といった意見からもわかるように、オンライン授業には対面授業とは異なるスキルが要求される。ICTツールやオンライン授業特有の指導法にいち早く慣れて使いこなせる対応力が問われる。

第四の「学生の理解度をいかに図るか」もオンライン授業ならではの問題だ。対面授業の場合、リアルタイムで学生の身体の動きや反応を見て補足説明を増やすといったフォローが可能だった。一方、オンライン授業は画面上の表情だけでは判別が難しく理解度が図りにくい。そのため「進度は早いですが教育の質は低下している（関東・私立）」という指摘もある。「通信速度が遅くなるとスムーズにやり取りができず、理解できているかどうかの雰囲気掴みづらい（近畿・私立）」など、通信環境に左右されるところも大きく（1）のICT環境整備にもつながってくる問題と言える。



## ■「オンラインと対面のハイブリッド」は進むのか。大学が見据える今後の展望

アンケートの最後に、新型コロナウイルスの感染拡大を機に大学の授業運営はどのように変わったか、また変わりそうか、今後の展望を含め尋ねた。

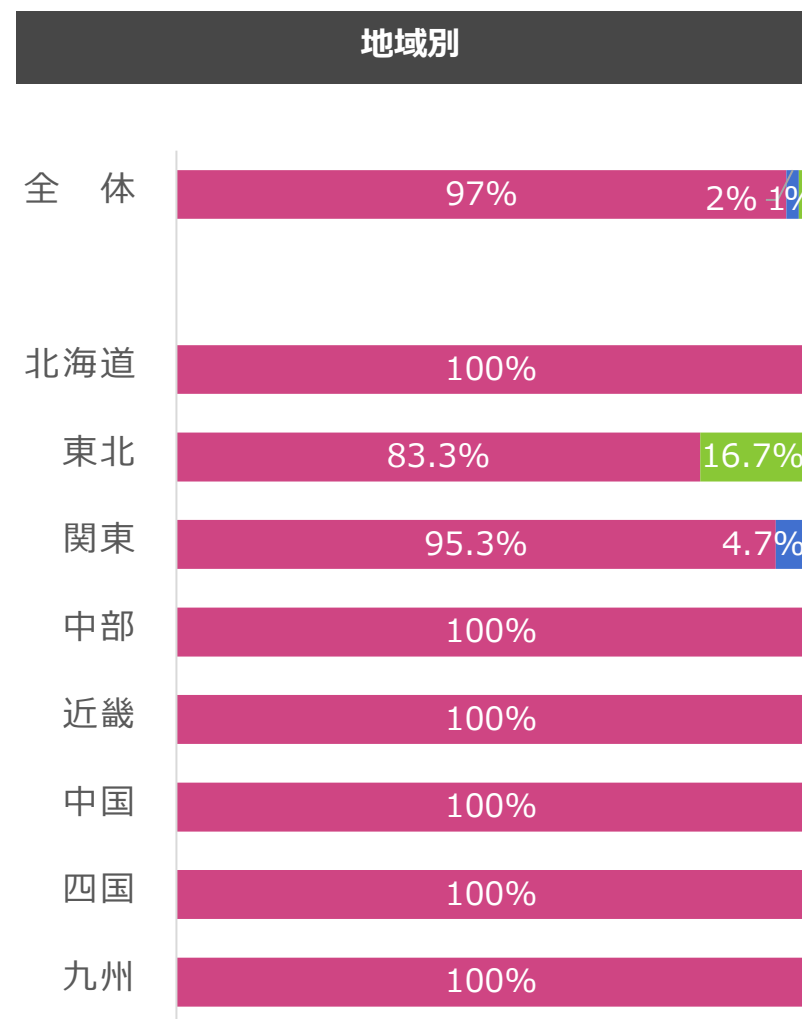
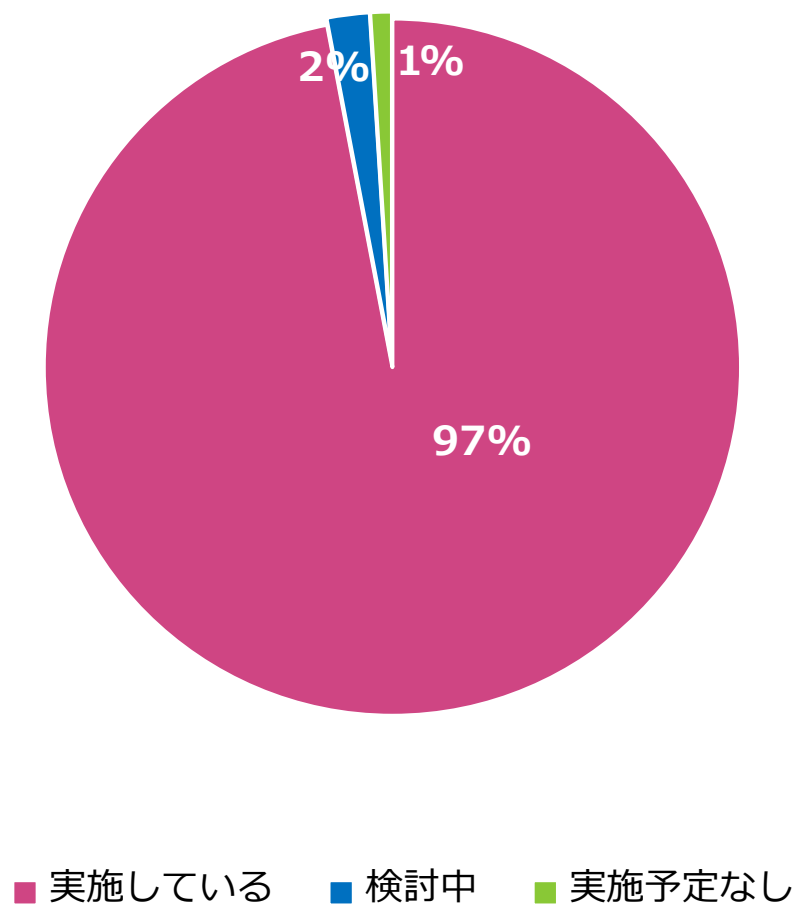
その結果、今後は授業のオンライン化がさらに進み、オンラインと対面のハイブリッドが一般的になると見る大学が国公立・私立問わず多いことが明らかとなった。

対面授業に戻るといった意見もあったが、少なくとも大規模講義の見直しや三密を避ける授業運営は必要不可欠であり、コロナ以前の形に完全に戻ることは考えにくい。中長期的には、授業はオンラインと対面のハイブリッド型となり、中身も多様化し、その過程でより高度なオンライン教育が進むことが予想される。必要に迫られて緊急導入されたオンライン授業だが、今後の大学教育を考える上で非常に重要な立ち位置にあり、新型コロナウイルスがこれまでとは違う観点から大学改革を推し進める要因になる可能性もある。

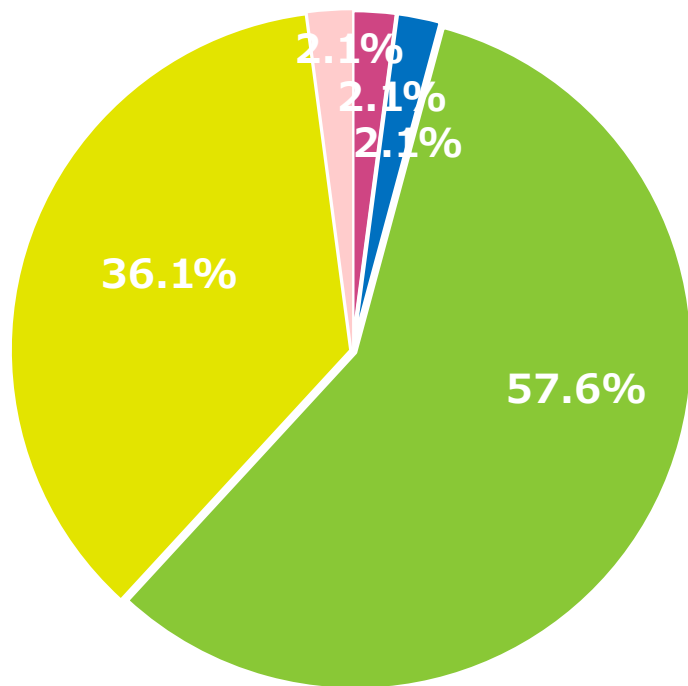
また、「ネットのほうが質問しやすかったり学習しやすいという学生もいる（北海道・私立）」「オンラインの方が好ましい講義もある（近畿・国公立）」など、オンライン授業の長所を指摘する教員もいた。こうしたオンライン授業のメリットを享受するためにも、今後は各教員、各大学が実践した取り組みや事例が失敗も含めシェアされ改善されていくことが必要不可欠だ。また、それを支えるICTやAI技術の進化も期待される。

## 4. アンケート調査結果

## 1. あなたの大学ではオンライン授業を実施していますか？ (N=100)

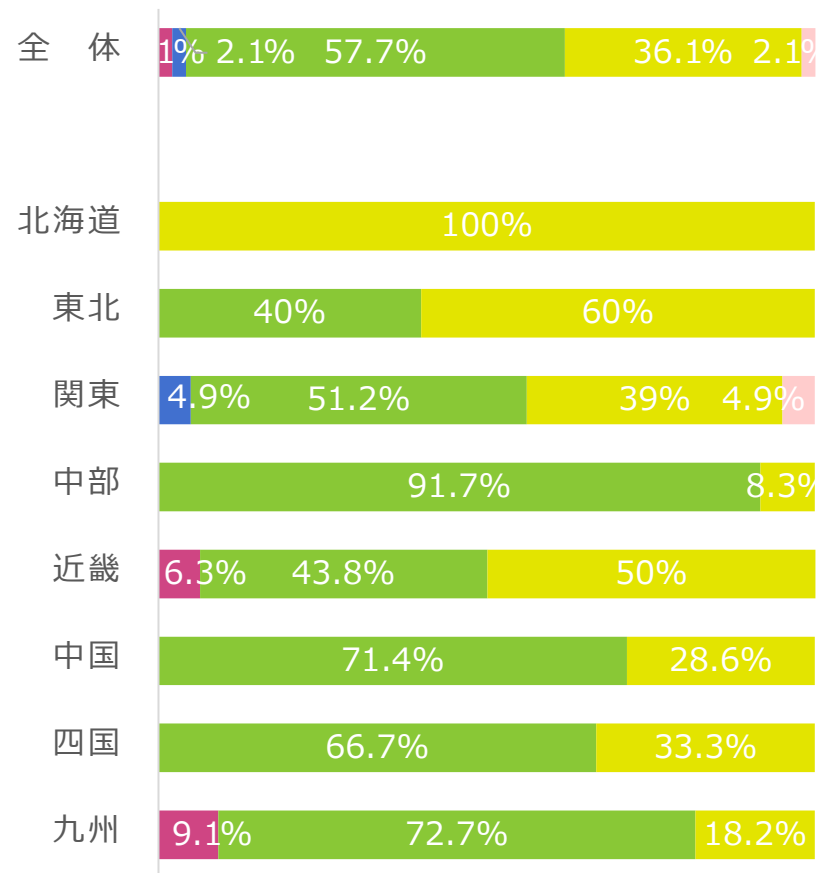


## 2. オンライン授業はいつから実施していますか？ (N=97)



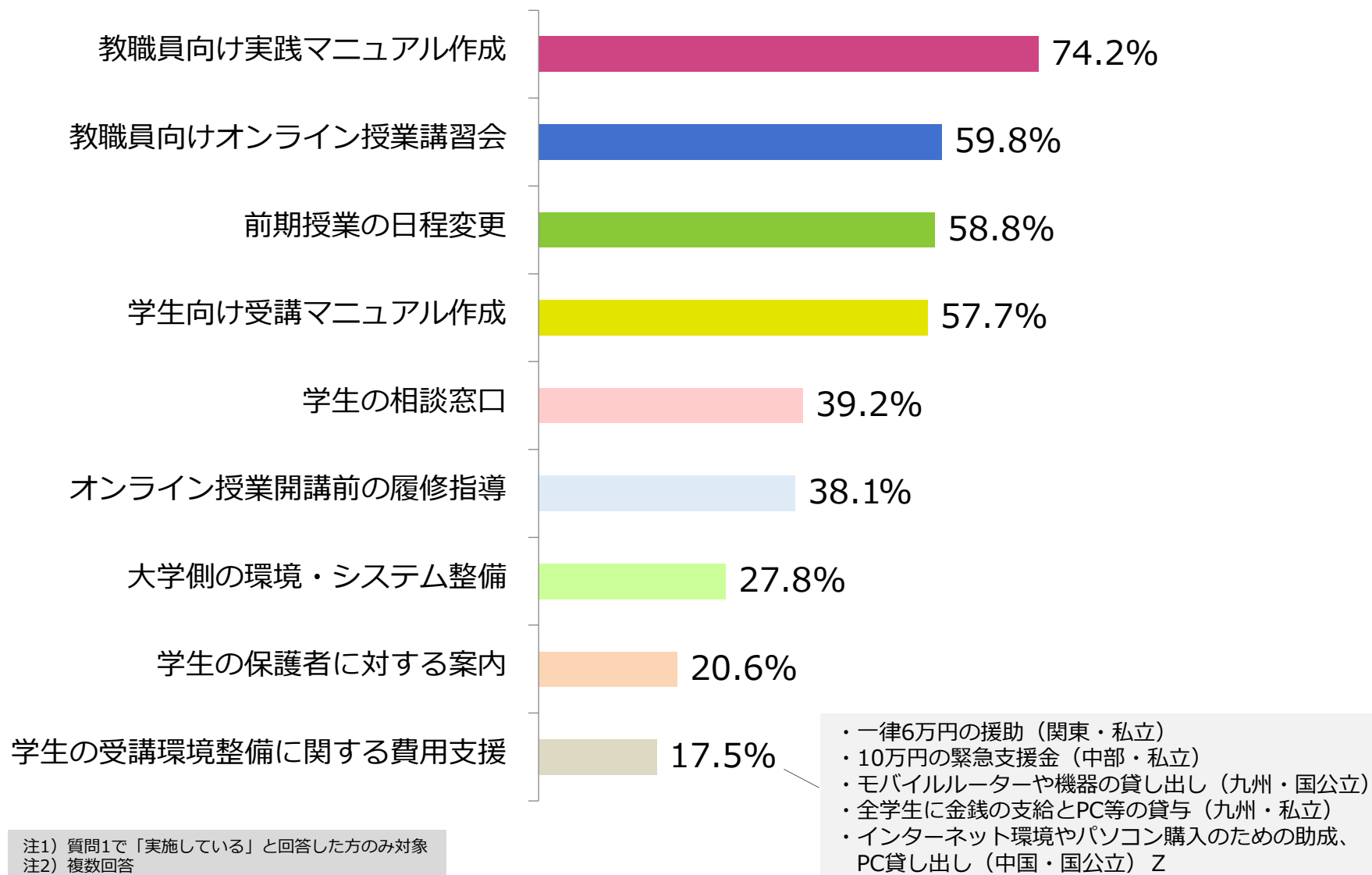
- 2020年2月以前
- 2020年3月
- 2020年4月
- 2020年5月
- 2020年6月

### 地域別



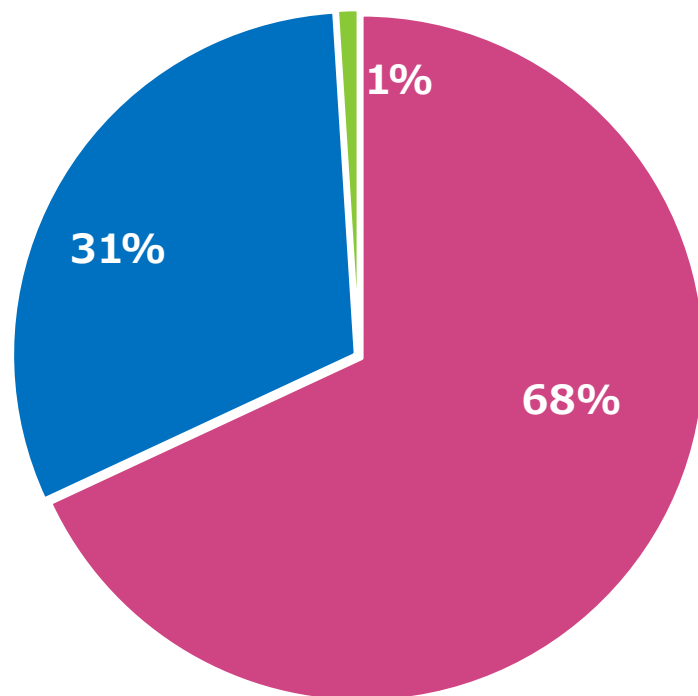
注1) 質問1で「実施している」と回答した方のみ対象

### 3. オンライン授業の導入にあたりどのような準備・対応を行いましたか？ (N=97)

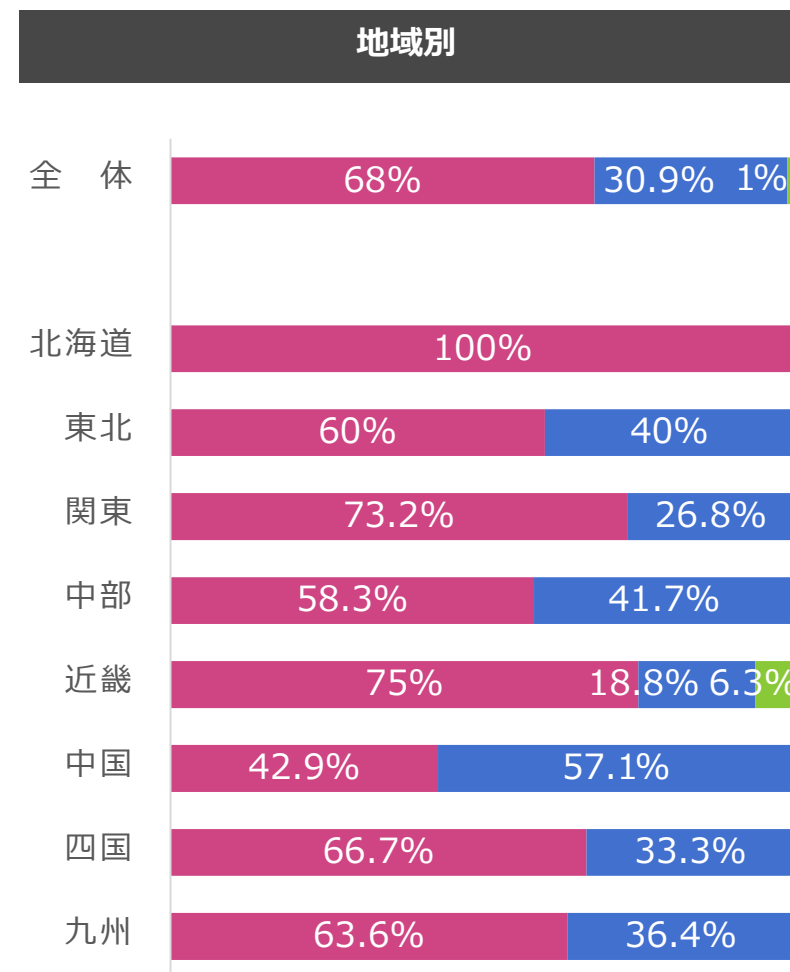


#### 4. オンライン授業の実施範囲について最も近いもの（回答日時点の状況）をお答えください。

(N = 97)

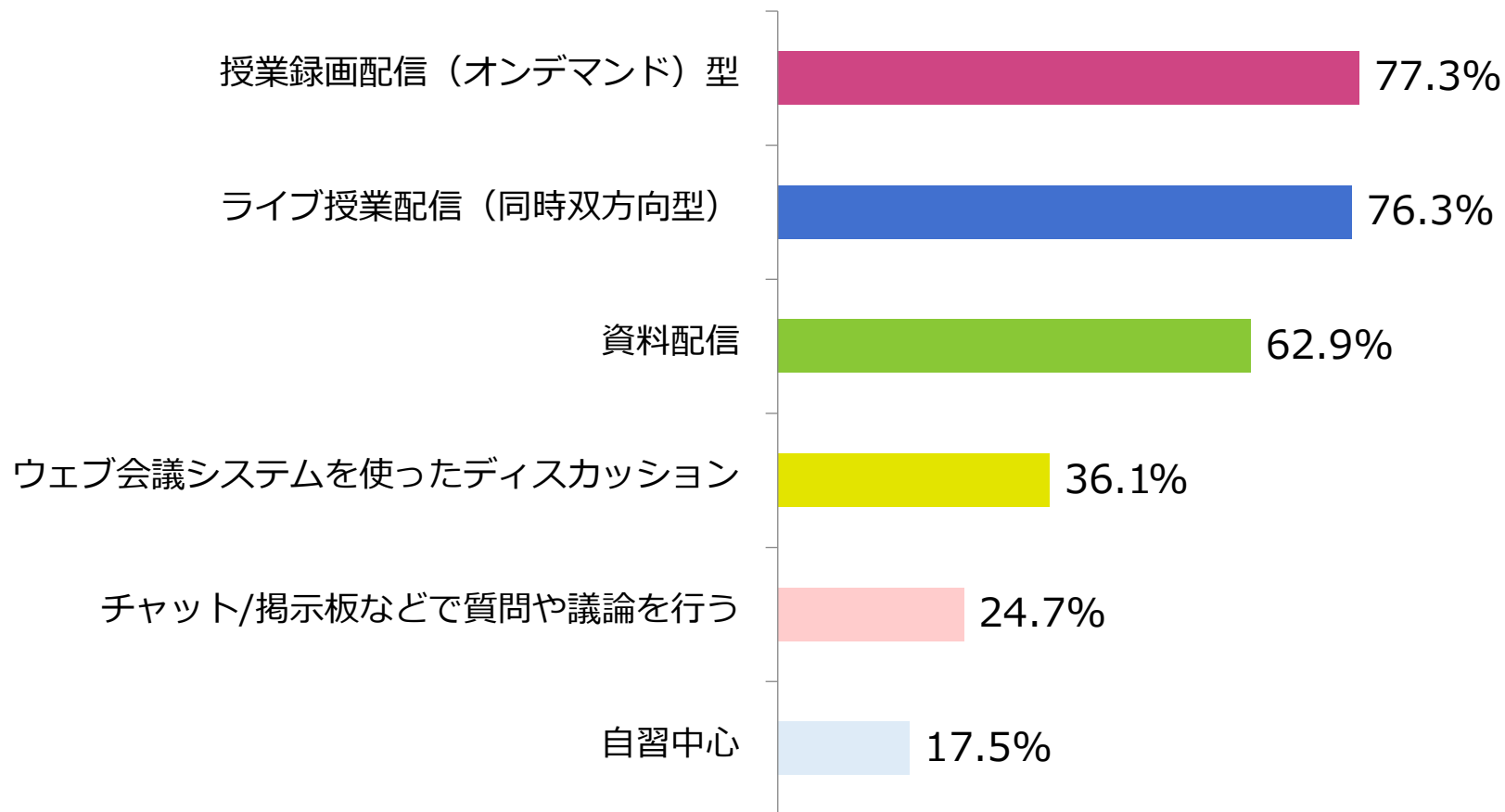


- 全面的にオンライン授業を実施（全学部の全ての単位を取得可能）
- 一部の学科・単位で実施（一部の単位を取得可能）
- 全面的にオンライン授業を実施（単位は取得はできない）



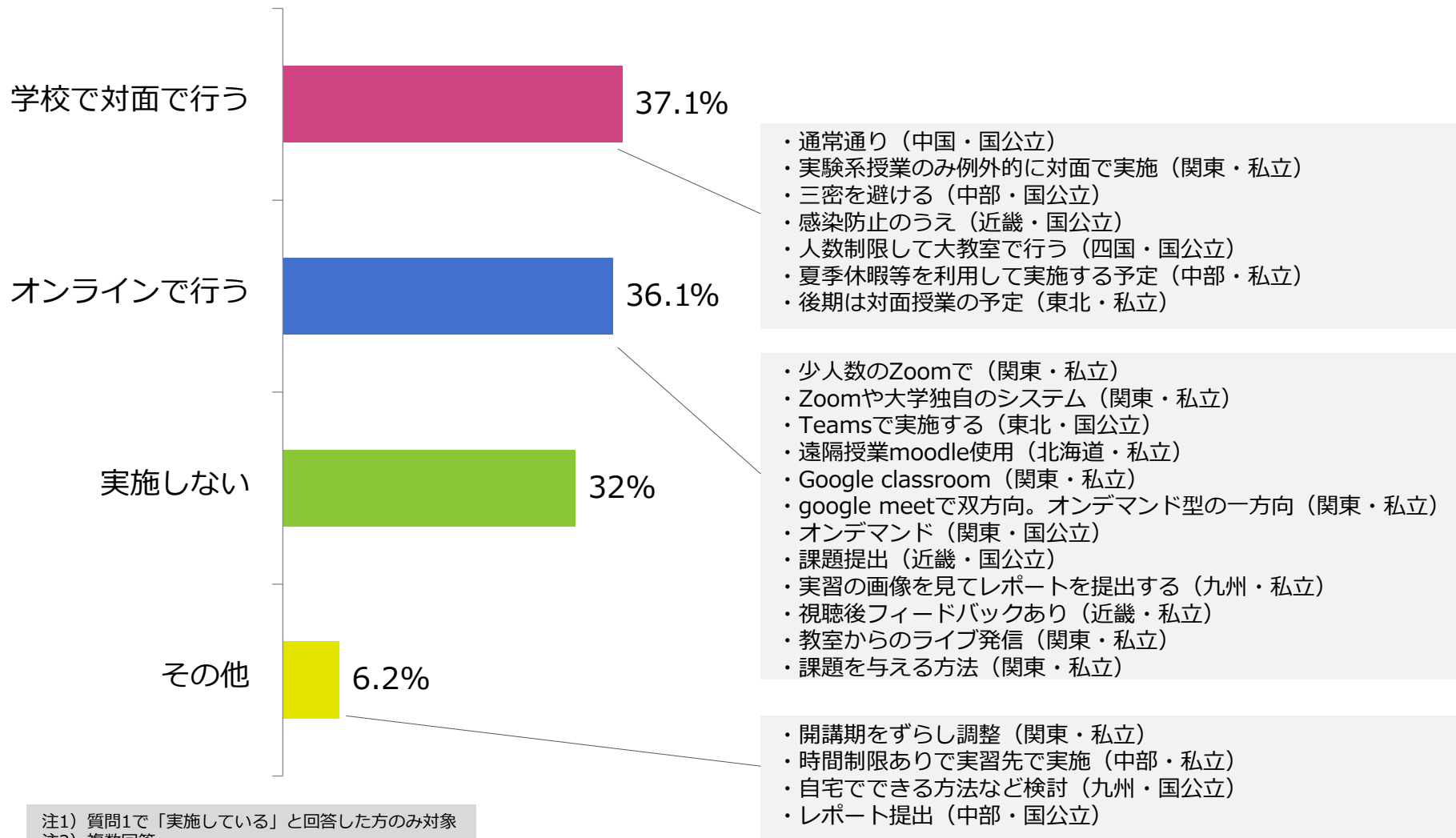
注1) 質問1で「実施している」と回答した方のみ対象

## 5. オンライン授業の形式はどのようなものですか？ (N = 97)



注1) 質問1で「実施している」と回答した方のみ対象  
注2) 複数回答

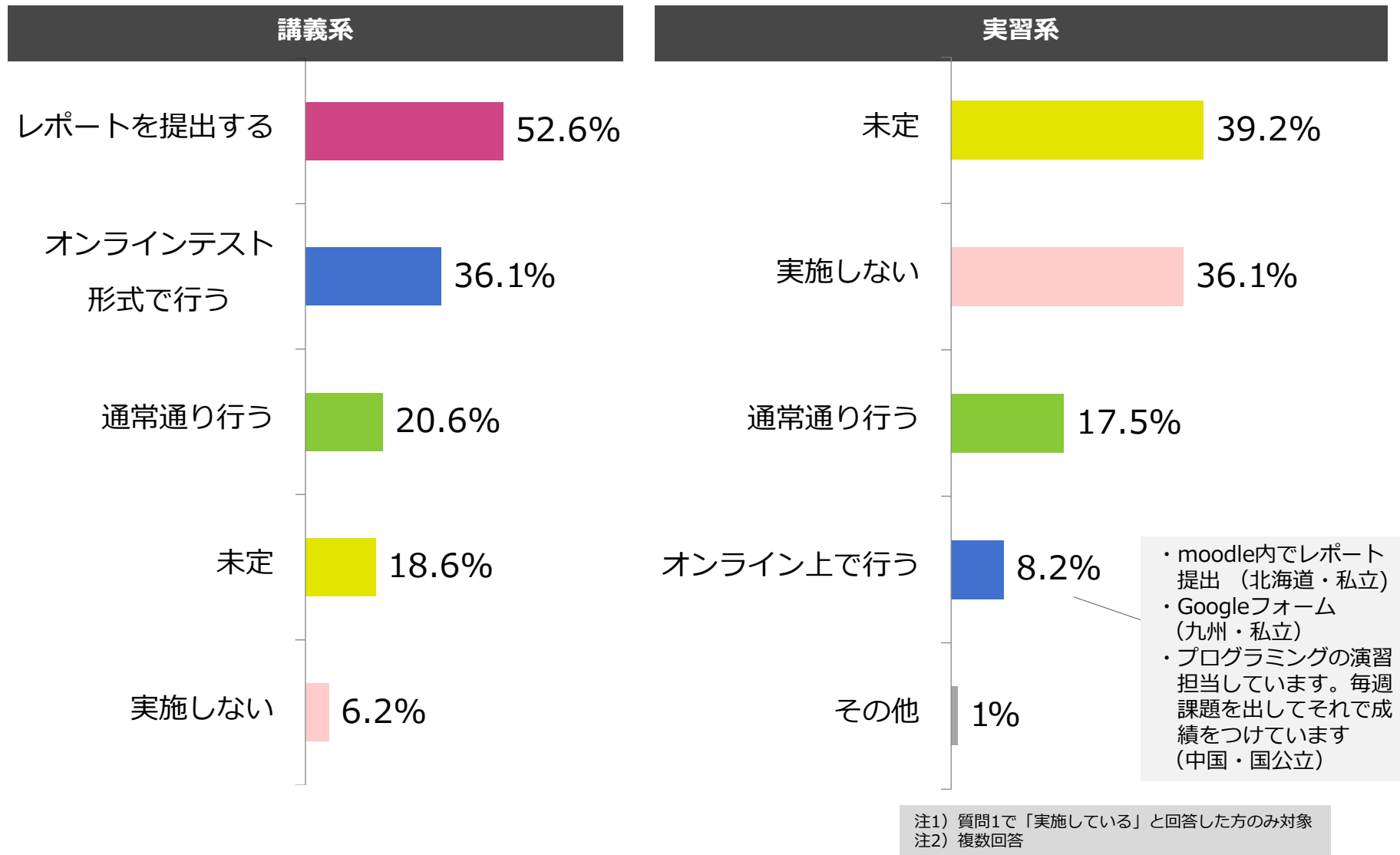
## 6. 実習系の授業はどのように実施されていますか？ (N = 97)



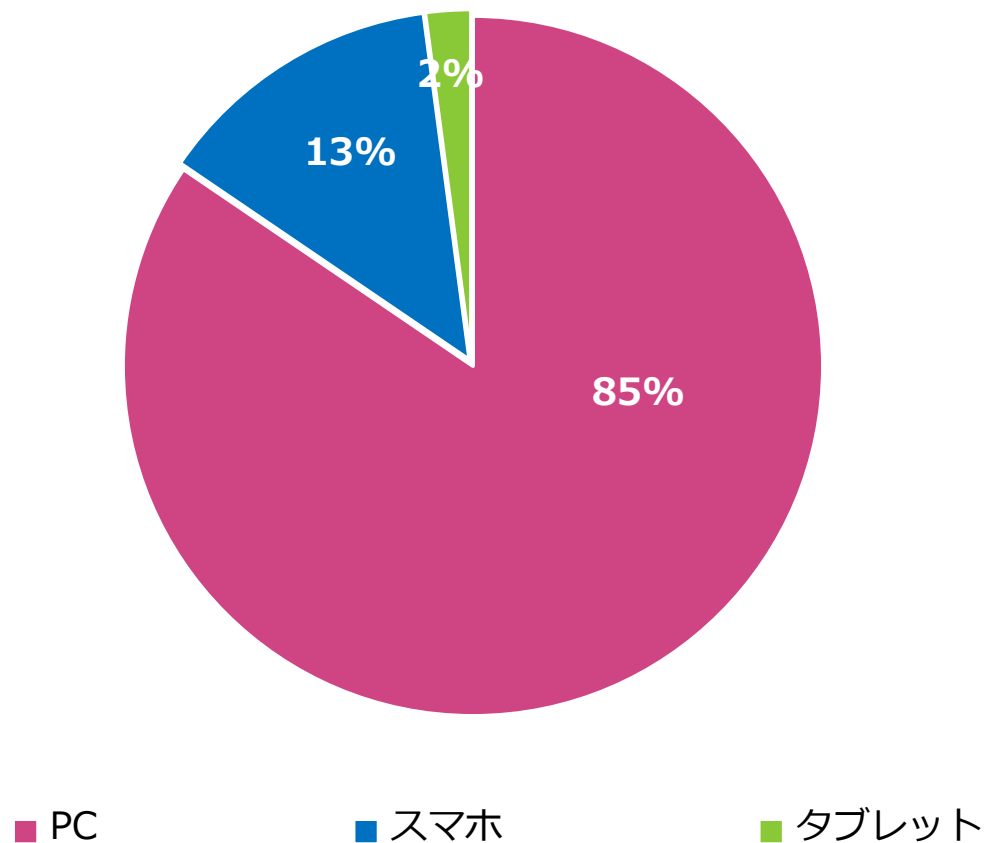
注1) 質問1で「実施している」と回答した方のみ対象  
 注2) 複数回答



## 7. 講義系・実習系の定期試験はどのように行う予定ですか？ (N = 97)

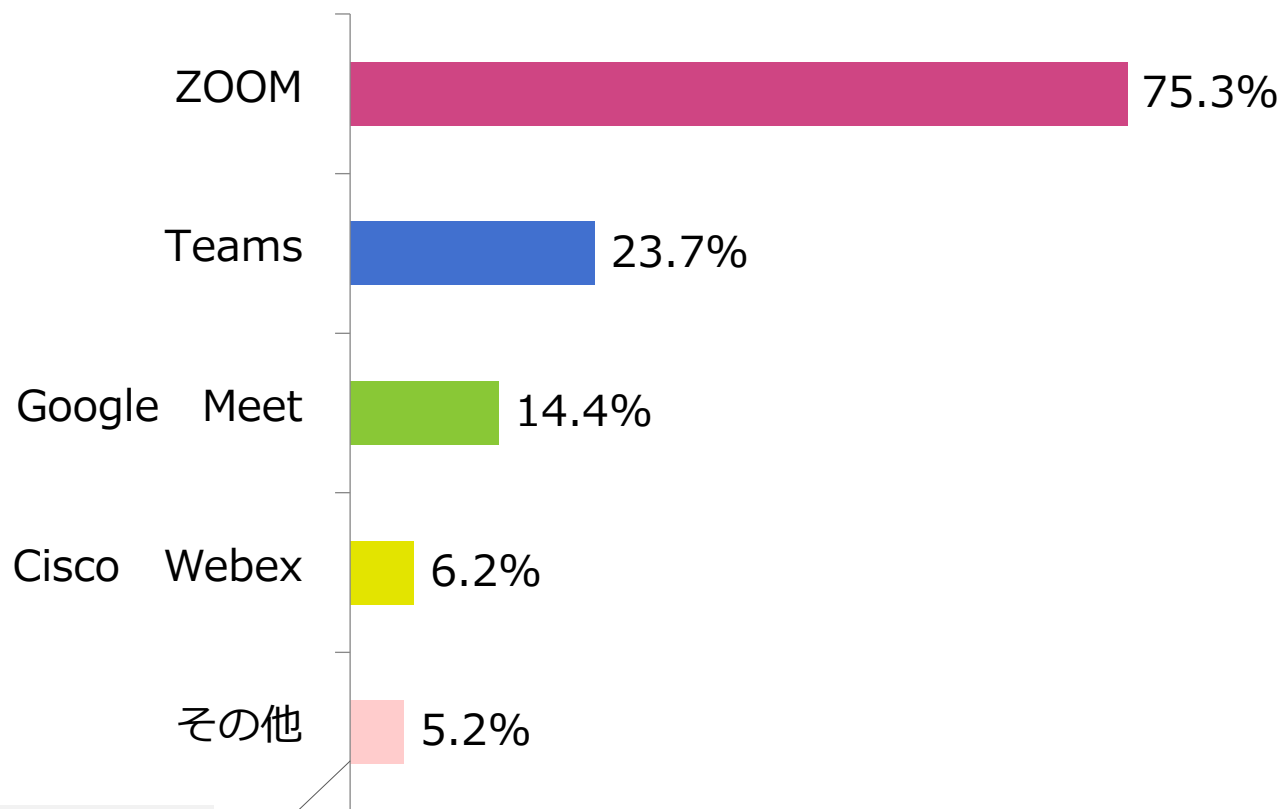


## 8. 学生の受講環境はどれが一番多いですか？ (N = 97)



注1) 質問1で「実施している」と回答した方のみ対象

## 9. オンライン授業の実施に際し、使用しているウェブ会議システムや授業支援システムを教えてください。(N = 97)



- ・ moodle (北海道・私立)
- ・ Moodle (九州・国公立)
- ・ Skype (九州・国公立)
- ・ WebClass, manaba (関東・私立)
- ・ 学校のシステム (近畿・私立)

注1) 質問1で「実施している」と回答した方のみ対象  
注2) 複数回答

## 10. 実際にオンライン授業を実施してみて大変だったこと、困ったことは何でしたか。

(N = 97)

### ICT環境整備不足

- ・自宅の通信環境状況や所持している端末によって学生の受講状況が大きく左右される（システムになかなか入れない、途中で授業の画面・音声ストップする、そのような状況になった場合の出欠管理と課題提出方法など）（北海道・私立）
- ・スマホしかない学生への対応（関東・私立）
- ・接続の悪い学生や途切れたりすること（近畿・私立）
- ・学生の回線が不安定。受講できない学生のフォロー（中部・国公立）
- ・学生のデバイス環境が多様で、環境を整えるために最初は質問対応に多くの時間を費やした（中部・国公立）
- ・講義日以外のときも学生からの対応をしなければならず、事務量は増えた（北海道・私立）
- ・はじめのころシステムのトラブルが多かった 学生からの質問がたくさんあり対応が大変だった（中国・私立）
- ・パソコンを持っていない学生がいること。連絡がメールやサイトを利用するが学生がそれを見ないこと（中部・私立）
- ・サーバーの不具合（関東・私立）
- ・学生、教員個々のシステム環境の相違による不具合（関東・私立）
- ・タイムラグが多少あること（関東・私立）

### 教材作成・授業準備

- ・講義資料の作成に追われている（九州・私立）
- ・録画の時準備に思ったより時間がかかった。最初はシステムが上手く作動せず、撮り直しをした先生もいた（関東・私立）
- ・今までと全く違う。準備が莫大に時間がかかる（中部・私立）
- ・板書できないので、事前に板書代わりの文書ファイルや資料ファイルを準備するのに大変時間がかかった（近畿・国公立）
- ・資料作り、動画撮影、課題添削（関東・私立）
- ・スライドへの音声の吹き込み（近畿・国公立）
- ・動画、音声などのコンテンツ作成が面倒（近畿・私立）
- ・授業動画の作成（東北・国公立）
- ・カリキュラムの組み方の見直し、先生方のソフトの扱い方のマニュアル整備等（東北・私立）
- ・学生の希望により動画と講義ノートのアップロードをしています。数式がたくさん出てくる講義ノートを手書きではなく作るのにはひどく時間がかかります。動画作成も録画の失敗などで撮り直したりすることが多く大変です。動画のトリミングにも手間がかかります（中国・国公立）
- ・準備とフォローアップで万年サービス残業の重労働。体を壊しそうである（関東・国公立）

## 10. 実際にオンライン授業を実施してみて大変だったこと、困ったことは何でしたか。

(N = 97)

### 教職員の対応力

- ・ 教員の授業レベルの違い（中部・私立）
- ・ 教員がパソコンに精通していない（関東・私立）
- ・ 教材の出来映えにバラツキがあること（関東・私立）
- ・ カメラをオフにされるとパソコンに向かって独りで喋っている形になるのでペース配分等が難しい（近畿・私立）
- ・ 資料のどこを指して話しているかがわからない。ポインタがうまく使えない（近畿・国公立）
- ・ 新しい機器、ソフトに慣れること（近畿・国公立）
- ・ 職員のリテラシー向上（中部・私立）
- ・ 教員の理解を得るのが大変（近畿・国公立）

### 学生の理解度をいかに図るか

- ・ 学生の理解度など、表情から読めない（関東・私立）
- ・ 授業態度がわからない（九州・私立）
- ・ 学生の反応が分かり辛い（近畿・私立）
- ・ お互い間合いがとれない（四国・国公立）
- ・ 学生の息遣いがわからず、コミュニケーションがとりにくい（中国・国公立）
- ・ 講義内容が学生に定着しているか（中部・私立）
- ・ 実験が主なのでオンライン授業では内容はほとんど理解できていないと思う。秋の通常の授業に期待したい（関東・私立）
- ・ 特に受講生の多い講義では、学生が正しく理解しているか分からないことや通信環境が安定しない学生への今後の対応をどうすべきかなど（関東・私立）
- ・ 人数が多い講義ではひとりひとりに目が届かなかった（関東・私立）
- ・ 通信速度が遅くなるとスムーズにやり取りができない。理解ができているかどうかの雰囲気掴みづらい（近畿・私立）

## 10. 実際にオンライン授業を実施してみて大変だったこと、困ったことは何でしたか。

(N = 97)

### その他

- ・理系の実験系なのでオンラインに出来ない実験も多く苦慮している（関東・私立）
- ・出席の把握（四国・国公立）
- ・出席管理（関東・私立）
- ・全員が初めてのことで分からないことだらけだったこと（関東・私立）
- ・学生の質問が多い。課題のチェックが大変（関東・私立）
- ・学生側も動画だとTVを流し見する感覚で見えてしまうようで集中度が低い。対面だとリアルタイムで学生の身体動作レベルのレスポンスを見て補足説明を増やしたりおさらいをしたりといったフォローを入れたが、ズームで顔だけ映しても判別困難なので、進度はさくさく進むが提供する教育サービスの質は低下している。そのわりに学生には毎回課題を出すよう学校当局に要請されるので、学生も教員も作業量ばかり増えて効率が悪い。教員の自由度を上げて授業のやり方を工夫させてほしいが、学校当局は強迫的なまでに形式の管理を強めたがって（パニックで不安なのだと思う）、事前に指示されたやり方しかさせてもらえない。教員としては学校側から使用ソフト・ファイル形式等の指定があったため以前の教材を流用できず、90分1コマの授業の準備に15時間ほどかかる。機材購入も自腹だし、報酬は1コマあたりの従来通りなので到底ペイしない。雇用側のコンプラ精神の無さにうんざりしたので近く転職する予定（関東・私立）

注1) 自由回答

注2) アンケートより一部抜粋

**1 1. 質問1でオンライン授業導入について「検討中」と答えた人にお聞きします。  
導入に際し、対応に時間がかかっている事・対応が難しい事は何か。(N=2)**

オンライン授業のための教材作り（なるべく通信量の負担が少ないようにする等）

オンライン授業を行うための環境・システムが大学にない

自宅での受講環境がない学生が多い

教職員向けのオンライン授業実践ガイドがない

学生向け受講マニュアルがない

教員や学生からの問い合わせ対応

100%

注1) 質問1で「検討中」と回答した方のみ対象

## 12. 質問1でオンライン授業について「実施予定なし」と答えた人にお聞きします。 オンライン授業を実施しない理由についてお答えください。(N=1)

オンライン授業を行うための環境・システムが大学にない

100%

自宅での受講環境がない学生が多い

授業開始を遅らせて様子を見ている

実施を検討したが学内の合意が取れなかった

コストがかかる（環境・システム・講義動画の撮影など）

注1) 質問1で「実施予定なし」と回答した方のみ対象



### 13. 質問1で「検討中」「実施予定なし」と答えた人にお聞きします。授業をオンライン化する場合、どのような効果やメリットが期待できると思いますか？ (N=3)

- ・悪天候などで交通機関がマヒして大学に通えない場合でも授業を受けることができる（東北・私立）
- ・いつでも繰り返し授業を聞ける（関東・国公立）
- ・3密を防げる（関東・国公立）

注1) 質問1で「検討中」「実施予定なし」と回答した方のみ対象

## 1 4. 新型コロナウイルスの感染拡大を機に大学の授業運営はどのように変わりましたか。また、変わりそうですか？今後の展望を含めお聞かせください。(N=100)

### オンライン化がさらに進む

- ・オンラインの授業形式が中心になると思う(関東・国公立)
- ・オンライン化が進みました。さらに進化させたいと思う(関東・私立)
- ・遠隔講義を新たな講義形式として継続する(九州・国公立)
- ・大講義室での多数の学生を収容した授業はもはや今後不可能と思われ、少人数のゼミ以外はオンライン授業が中心になるのではないかと(近畿・国公立)
- ・履修登録者が前年度より多くなった。ネットではリアルと同格なものは難しいが、ネットのほうが質問しやすかったり学習しやすいという学生もいる。欠点ばかりではなくネットの強みをどういかせるかが課題である(北海道・私立)
- ・オンデマンドのオンラインの方が好ましい講義もある(近畿・国公立)
- ・学生個々の把握が良くなった(関東・私立)
- ・これを機にリモート学習の導入が進む(関東・私立)

### オンラインと対面のハイブリッド

- ・原則対面授業。ただし、自然災害等の際にはオンライン授業を展開できるというノウハウが蓄積できた(中部・私立)
- ・オンライン授業の体験ができよかった。これから何かあったときもこのような形でできそうだ(中国・私立)
- ・Webと対面をあわせることにより、より効果的になる(近畿・私立)
- ・コロナの現状によってリモートと対面を使い分けていくことになると思う(近畿・私立)
- ・オンラインも含めた授業運営になりそう(関東・私立)
- ・オンライン授業が常態にはならないだろうが、ネットを利用した資料配付・テスト・レポート提出はより一般化するだろう(東北・私立)
- ・いずれは通常の形態に戻ると思うが、オンライン講義も選択肢として大きな割合を占めるものとなると思う(中部・国公立)
- ・講義ではオンラインでの実施に大きな問題なければ、導入も検討すると思われ。特に複数のキャンパスを持つ大学や、(多人数の)複数学科での同一内容の講義などでは、一人の教員による遠隔講義を可能とするため、これも支障なしの判断が下れば、大学運営にメリットがあり、導入が検討されるような印象。

## 1 4. 新型コロナウイルスの感染拡大を機に大学の授業運営はどのように変わりましたか。また、変わりそうですか？今後の展望を含めお聞かせください。(N=100)

### 元の対面授業に戻る

- ・いまはオンラインでやっているが、そのうち通常に戻ると思う(中部・国公立)
- ・やはり対面授業を学生も望んでいるので、早めに対面授業に戻りたい(関東・私立)
- ・なるべく学校にいる学生数を減らす為オンライン授業を実施してはいるが、根本的に変わるのは難しそう(近畿・私立)
- ・前期はオンライン授業、後期は対面授業で実習は後期に回した(東北・私立)
- ・対面に戻る可能性が高そうです。個人的には、対面もオンラインも一長一短だと思います。オンデマンドだと、留年気味な学生も含め、多くの学生ががんばって勉強しているようです。ただし、対面講義のように学生との信頼関係を築くのは難しいと感じています。昨年度以前に対面講義で顔見知りな学生たちは質問してきますが、対面講義で接したことのない学生たちは質問せずに分からないまま課題の提出をしていることが多いようです(中国・国公立)

### 授業運営に変化

- ・授業での3密を避ける対策(九州・私立)
- ・一つの授業を受けられる人数の調整や、課題などの内容の変更などがある予定です(関東・私立)
- ・マスクの着用、消毒液の活用、3密の実施が必要。午前の部、午後の部に分ける。退学者が増えそうです(関東・私立)
- ・研究室のミーティングはオンラインになる(関東・国公立)
- ・予習用のプリントなどの前渡し。確認テストのWeb回収(関東・私立)
- ・通常のルーチンの時間割が組めない(一週間ごとの時間割の作成)(北海道・私立)
- ・ペーパーレス(関東・私立)

### 先行き不透明

- ・先行き不透明(関東・私立)
- ・まだよくわからない。手探りの状態(近畿・国公立)
- ・アクティブラーニングも取り入れたオンライン講義資料作成に追われ今後の運営までは想像が働いていない状況(関東・私立)
- ・呆然としている感じである。事業継続は困難(四国・国公立)
- ・混乱中(中国・国公立)
- ・変わる部分(一般的な講義)と変えられない部分(実験・実習)がある。オンライン等に変えられる授業でも、PCや通信環境の整備などに学生間の経済的格差もあるので、とても難しい問題(関東・私立)

## 1 4. 新型コロナウイルスの感染拡大を機に大学の授業運営はどのように変わりましたか。また、変わりそうですか？今後の展望を含めお聞かせください。(N=100)

### 教職員の働き方に変化

- ・在宅勤務が多くなった（関東・私立）
- ・オンラインを主体にしたことから教員のテレワークが増えた。教授会など一同に会する機会の減少とそれを補う方法の検討（関東・私立）
- ・教務事務の体制が整っていないと、教員に大きなしわ寄せがくる（北海道・私立）
- ・圧倒的にテレワーク（中部・私立）
- ・在宅勤務（九州・私立）

### ゼミ・実習ができない

- ・講義形式の授業はオンライン化出来るのではと思うが、実験・実習形式の授業のオンライン化は難しいと思う（中国・国公立）
- ・臨床実習が制限される（中部・私立）
- ・少人数のゼミが3密でできない（関東・私立）

### その他

- ・自主的に講義に参加してる学生は問題ないが講義(非同期オンライン学習)に参加せずに課題がたまっている学生への対応。学習意欲の格差により差が大きくなりそう。単位が取れない学生は全てに躓きそうで留年や退学が増えそう（九州・国公立）
- ・本当に学力がつくのか不安（関東・私立大）
- ・今回の対応は、殆どの大学がなんちゃってオンライン講義を行っていると思われる。何が良いのか悪いのか、最終的な結末を日本中の大学で共有して今後のオンライン講義に備えるべきである（九州・私立）
- ・オンライン授業もメリットはあるものの、対面のほうが緊張感があるので効果的。またZoomなどのテレビ会議システムの契約に費用がかかり、今後も継続するとなると地方国立大学は金の工面ができないのではないかと（九州・国公立）

注1) 自由回答

注2) アンケートより一部抜粋

# 5. 調査データ

## ～地域別クロス表～

## 1. あなたの大学ではオンライン授業を実施していますか？ (N=100)

		全 体	実 施 し て い る	検 討 中	実 施 予 定 な し
全 体		100 100.0	97 97.0	2 2.0	1 1.0
地域別	北海道	2 100.0	2 100.0	- -	- -
	東北	6 100.0	5 83.3	- -	1 16.7
	関東	43 100.0	41 95.3	2 4.7	- -
	中部	12 100.0	12 100.0	- -	- -
	近畿	16 100.0	16 100.0	- -	- -
	中国	7 100.0	7 100.0	- -	- -
	四国	3 100.0	3 100.0	- -	- -
	九州	11 100.0	11 100.0	- -	- -

## 2. オンライン授業はいつから実施していますか？ (N=97)

		全 体	2 0 2 0 年 2 月 以 前	2 0 2 0 年 3 月	2 0 2 0 年 4 月	2 0 2 0 年 5 月	2 0 2 0 年 6 月
全 体		97 100.0	2 2.1	2 2.1	56 57.7	35 36.1	2 2.1
地域別	北海道	2 100.0	- -	- -	- -	2 100.0	- -
	東北	5 100.0	- -	- -	2 40.0	3 60.0	- -
	関東	41 100.0	- -	2 4.9	21 51.2	16 39.0	2 4.9
	中部	12 100.0	- -	- -	11 91.7	1 8.3	- -
	近畿	16 100.0	1 6.3	- -	7 43.8	8 50.0	- -
	中国	7 100.0	- -	- -	5 71.4	2 28.6	- -
	四国	3 100.0	- -	- -	2 66.7	1 33.3	- -
	九州	11 100.0	1 9.1	- -	8 72.7	2 18.2	- -

注1) 質問1で「実施している」と回答した方のみ対象

### 3. オンライン授業の導入にあたりどのような準備・対応を行いましたか？ (N=97)

		全 体	教 職 員 マ ニ ュ ア ル 作 成	教 職 員 向 け オ ン ラ イ ン 授 業 講 習 会	前 期 授 業 の 日 程 変 更	学 生 向 け 受 講 マ ニ ュ ア ル 作 成	学 生 の 相 談 窓 口	履 修 指 導 オ ン ラ イ ン 授 業 開 講 前 の	整 備 大 学 側 の 環 境 ・ シ ス テ ム	内 学 生 の 保 護 者 に 対 す る 案	学 生 の 受 講 環 境 整 備 に 関 する 費 用 支 援 ( * 1 )
全 体		97 100.0	72 74.2	58 59.8	57 58.8	56 57.7	38 39.2	37 38.1	27 27.8	20 20.6	17 17.5
地域別	北海道	2 100.0	1 50.0	2 100.0	1 50.0	1 50.0	- -	1 50.0	1 50.0	- -	1 50.0
	東北	5 100.0	4 80.0	2 40.0	5 100.0	4 80.0	3 60.0	2 40.0	2 40.0	1 20.0	2 40.0
	関東	41 100.0	29 70.7	21 51.2	24 58.5	25 61.0	17 41.5	16 39.0	7 17.1	12 29.3	6 14.6
	中部	12 100.0	9 75.0	8 66.7	8 66.7	7 58.3	4 33.3	3 25.0	5 41.7	1 8.3	1 8.3
	近畿	16 100.0	11 68.8	9 56.3	7 43.8	6 37.5	5 31.3	5 31.3	5 31.3	2 12.5	2 12.5
	中国	7 100.0	6 85.7	6 85.7	3 42.9	4 57.1	2 28.6	3 42.9	1 14.3	1 14.3	1 14.3
	四国	3 100.0	3 100.0	1 33.3	2 66.7	2 66.7	2 66.7	1 33.3	2 66.7	- -	- -
	九州	11 100.0	9 81.8	9 81.8	7 63.6	7 63.6	5 45.5	6 54.5	4 36.4	3 27.3	4 36.4

(\*1)オンライン授業を受講するためのネット環境・PC等

注1) 質問1で「実施している」と回答した方のみ対象  
注2) 複数回答





## 5. オンライン授業の形式はどのようなものですか？ (N = 97)

		全 体	授 業 録 画 配 信 ( マ ン ド )	双 方 向 型 授 業 配 信 ( 同 時 )	資 料 配 信	ウ ェ ブ 会 議 シ ス テ ム を 使 い デ ィ ス カ ッ シ ヨ ン を 行 う	チ ャ ット / 掲 示 板 な ど で 質 問 や 議 論 を 行 う	自 習 中 心
全 体		97 100.0	75 77.3	74 76.3	61 62.9	35 36.1	24 24.7	17 17.5
地域別	北海道	2 100.0	1 50.0	1 50.0	1 50.0	- -	1 50.0	- -
	東北	5 100.0	5 100.0	3 60.0	2 40.0	3 60.0	1 20.0	1 20.0
	関東	41 100.0	34 82.9	29 70.7	23 56.1	12 29.3	8 19.5	8 19.5
	中部	12 100.0	7 58.3	9 75.0	9 75.0	6 50.0	5 41.7	- -
	近畿	16 100.0	10 62.5	14 87.5	10 62.5	5 31.3	3 18.8	4 25.0
	中国	7 100.0	6 85.7	6 85.7	5 71.4	2 28.6	1 14.3	- -
	四国	3 100.0	3 100.0	3 100.0	3 100.0	1 33.3	- -	1 33.3
	九州	11 100.0	9 81.8	9 81.8	8 72.7	6 54.5	5 45.5	3 27.3

注1) 質問1で「実施している」と回答した方のみ対象  
注2) 複数回答

## 6. 実習系の授業はどのように実施されていますか？ (N = 97)

		全 体	学 校 で 対 面 で 行 う	オ ン ラ イ ン で 行 う	実 施 し な い	そ の 他
全 体		97 100.0	36 37.1	35 36.1	31 32.0	6 6.2
地域別	北海道	2 100.0	1 50.0	1 50.0	— —	— —
	東北	5 100.0	1 20.0	2 40.0	3 60.0	— —
	関東	41 100.0	13 31.7	19 46.3	11 26.8	1 2.4
	中部	12 100.0	6 50.0	3 25.0	4 33.3	2 16.7
	近畿	16 100.0	6 37.5	4 25.0	6 37.5	— —
	中国	7 100.0	1 14.3	1 14.3	3 42.9	2 28.6
	四国	3 100.0	3 100.0	1 33.3	— —	— —
	九州	11 100.0	5 45.5	4 36.4	4 36.4	1 9.1

注1) 質問1で「実施している」と回答した方のみ対象  
注2) 複数回答

## 7. 講義系・実習系の定期試験はどのように行う予定ですか？ (N = 97)

講義系		全体	レポートを提出する	オンラインテスト形式で行う	通常通り行う	未定	実施しない
全体		97 100.0	51 52.6	35 36.1	20 20.6	18 18.6	6 6.2
地域別	北海道	2 100.0	- -	2 100.0	- -	- -	- -
	東北	5 100.0	2 40.0	4 80.0	- -	1 20.0	- -
	関東	41 100.0	19 46.3	11 26.8	8 19.5	13 31.7	2 4.9
	中部	12 100.0	8 66.7	3 25.0	5 41.7	1 8.3	1 8.3
	近畿	16 100.0	9 56.3	6 37.5	1 6.3	3 18.8	2 12.5
	中国	7 100.0	4 57.1	3 42.9	2 28.6	- -	1 14.3
	四国	3 100.0	2 66.7	1 33.3	2 66.7	- -	- -
	九州	11 100.0	7 63.6	5 45.5	2 18.2	- -	- -

注1) 質問1で「実施している」と回答した方のみ対象  
注2) 複数回答

## 7. 講義系・実習系の定期試験はどのように行う予定ですか？ (N = 97)

実習系		全 体	未 定	実 施 し な い	通 常 通 り 行 う	オ ン ラ イ ン 上 で 行 う	そ の 他
全 体		97 100.0	38 39.2	35 36.1	17 17.5	8 8.2	1 1.0
地域別	北海道	2 100.0	1 50.0	－ －	－ －	1 50.0	－ －
	東北	5 100.0	2 40.0	2 40.0	－ －	1 20.0	－ －
	関東	41 100.0	20 48.8	11 26.8	8 19.5	2 4.9	－ －
	中部	12 100.0	3 25.0	5 41.7	4 33.3	1 8.3	－ －
	近畿	16 100.0	6 37.5	9 56.3	1 6.3	－ －	－ －
	中国	7 100.0	－ －	3 42.9	2 28.6	1 14.3	1 14.3
	四国	3 100.0	1 33.3	1 33.3	1 33.3	－ －	－ －
	九州	11 100.0	5 45.5	4 36.4	1 9.1	2 18.2	－ －

注1) 質問1で「実施している」と回答した方のみ対象  
注2) 複数回答

## 8. 学生の受講環境はどれが一番多いですか？ (N = 97)

		全 体	P C	ス マ ホ	タ ブ レ ッ ト
全 体		97 100.0	82 84.5	13 13.4	2 2.1
地域別	北海道	2 100.0	1 50.0	1 50.0	－ －
	東北	5 100.0	5 100.0	－ －	－ －
	関東	41 100.0	34 82.9	6 14.6	1 2.4
	中部	12 100.0	10 83.3	1 8.3	1 8.3
	近畿	16 100.0	14 87.5	2 12.5	－ －
	中国	7 100.0	7 100.0	－ －	－ －
	四国	3 100.0	2 66.7	1 33.3	－ －
	九州	11 100.0	9 81.8	2 18.2	－ －

注1) 質問1で「実施している」と回答した方のみ対象

## 9. オンライン授業の実施に際し、使用しているウェブ会議システムや授業支援システムを教えてください。(N = 97)

		全 体	Z O O M	T e a m s	M G e o o t g l e	W C e i b s e c x o	そ の 他
全 体		97 100.0	73 75.3	23 23.7	14 14.4	6 6.2	5 5.2
地域別	北海道	2 100.0	– –	1 50.0	– –	– –	1 50.0
	東北	5 100.0	4 80.0	1 20.0	1 20.0	– –	– –
	関東	41 100.0	32 78.0	9 22.0	9 22.0	2 4.9	1 2.4
	中部	12 100.0	11 91.7	3 25.0	– –	1 8.3	– –
	近畿	16 100.0	10 62.5	5 31.3	1 6.3	1 6.3	1 6.3
	中国	7 100.0	6 85.7	1 14.3	2 28.6	– –	– –
	四国	3 100.0	2 66.7	1 33.3	– –	– –	– –
	九州	11 100.0	8 72.7	2 18.2	1 9.1	2 18.2	2 18.2

注1) 質問1で「実施している」と回答した方のみ対象  
注2) 複数回答

## 10. 実際にオンライン授業を実施してみて大変だったこと、困ったことは何でしたか。

(N = 97)

### ICT環境整備不足

- ・自宅の通信環境状況や所持している端末によって学生の受講状況が大きく左右される（システムになかなか入れない、途中で授業の画面・音声ストップする、そのような状況になった場合の出欠管理と課題提出方法など）（北海道・私立）
- ・スマホしかない学生への対応（関東・私立）
- ・接続の悪い学生や途切れたりすること（近畿・私立）
- ・学生の回線が不安定。受講できない学生のフォロー（中部・国公立）
- ・学生のデバイス環境が多様で、環境を整えるために最初は質問対応に多くの時間を費やした（中部・国公立）
- ・講義日以外のときも学生からの対応をしなければならず、事務量は増えた（北海道・私立）
- ・はじめのころシステムのトラブルが多かった 学生からの質問がたくさんあり対応が大変だった（中国・私立）
- ・パソコンを持っていない学生がいること。連絡がメールやサイトを利用するが学生がそれを見ないこと（中部・私立）
- ・サーバーの不具合（関東・私立）
- ・学生、教員個々のシステム環境の相違による不具合（関東・私立）
- ・タイムラグが多少あること（関東・私立）

### 教材作成・授業準備

- ・講義資料の作成に追われている（九州・私立）
- ・録画の時準備に思ったより時間がかかった。最初はシステムが上手く作動せず、撮り直しをした先生もいた（関東・私立）
- ・今までと全く違う。準備が莫大に時間がかかる（中部・私立）
- ・板書できないので、事前に板書代わりの文書ファイルや資料ファイルを準備するのに大変時間がかかった（近畿・国公立）
- ・資料作り、動画撮影、課題添削（関東・私立）
- ・スライドへの音声の吹き込み（近畿・国公立）
- ・動画、音声などのコンテンツ作成が面倒（近畿・私立）
- ・授業動画の作成（東北・国公立）
- ・カリキュラムの組み方の見直し、先生方のソフトの扱い方のマニュアル整備等（東北・私立）
- ・学生の希望により動画と講義ノートのアップロードをしています。数式がたくさん出てくる講義ノートを手書きではなく作るのにはひどく時間がかかります。動画作成も録画の失敗などで撮り直したりすることが多く大変です。動画のトリミングにも手間がかかります（中国・国公立）
- ・準備とフォローアップで万年サービス残業の重労働。体を壊しそうである（関東・国公立）



## 10. 実際にオンライン授業を実施してみて大変だったこと、困ったことは何でしたか。

(N = 97)

### 教職員の対応力

- ・ 教員の授業レベルの違い（中部・私立）
- ・ 教員がパソコンに精通していない（関東・私立）
- ・ 教材の出来映えにバラツキがあること（関東・私立）
- ・ カメラをオフにされるとパソコンに向かって独りで喋っている形になるのでペース配分等が難しい（近畿・私立）
- ・ 資料のどこを指して話しているかがわからない。ポインタがうまく使えない（近畿・国公立）
- ・ 新しい機器、ソフトに慣れること（近畿・国公立）
- ・ 職員のリテラシー向上（中部・私立）
- ・ 教員の理解を得るのが大変（近畿・国公立）

### 学生の理解度をいかに図るか

- ・ 学生の理解度など、表情から読めない（関東・私立）
- ・ 授業態度がわからない（九州・私立）
- ・ 学生の反応が分かり辛い（近畿・私立）
- ・ お互い間合いがとれない（四国・国公立）
- ・ 学生の息遣いがわからず、コミュニケーションがとりにくい（中国・国公立）
- ・ 講義内容が学生に定着しているか（中部・私立）
- ・ 実験が主なのでオンライン授業では内容はほとんど理解できていないと思う。秋の通常の授業に期待したい（関東・私立）
- ・ 特に受講生の多い講義では、学生が正しく理解しているか分からないことや通信環境が安定しない学生への今後の対応をどうすべきかなど（関東・私立）
- ・ 人数が多い講義ではひとりひとりに目が届かなかった（関東・私立）
- ・ 通信速度が遅くなるとスムーズにやり取りができない。理解ができているかどうかの雰囲気掴みづらい（近畿・私立）

## 10. 実際にオンライン授業を実施してみて大変だったこと、困ったことは何でしたか。

(N = 97)

### その他

- ・理系の実験系なのでオンラインに出来ない実験も多く苦慮している（関東・私立）
- ・出席の把握（四国・国公立）
- ・出席管理（関東・私立）
- ・全員が初めてのことで分からないことだらけだったこと（関東・私立）
- ・学生の質問が多い。課題のチェックが大変（関東・私立）
- ・学生側も動画だとTVを流し見する感覚で見えてしまうようで集中度が低い。対面だとリアルタイムで学生の身体動作レベルのレスポンスを見て補足説明を増やしたりおさらいをしたりといったフォローを入れたが、ズームで顔だけ映しても判別困難なので、進度はさくさく進むが提供する教育サービスの質は低下している。そのわりに学生には毎回課題を出すよう学校当局に要請されるので、学生も教員も作業量ばかり増えて効率が悪い。教員の自由度を上げて授業のやり方を工夫させてほしいが、学校当局は強迫的なまでに形式の管理を強めたがって（パニックで不安なのだと思う）、事前に指示されたやり方しかさせてもらえない。教員としては学校側から使用ソフト・ファイル形式等の指定があったため以前の教材を流用できず、90分1コマの授業の準備に15時間ほどかかる。機材購入も自腹だし、報酬は1コマあたりの従来通りなので到底ペイしない。雇用側のコンプラ精神の無さにうんざりしたので近く転職する予定（関東・私立）

注1) 自由回答

注2) アンケートより一部抜粋

1 1. 質問1でオンライン授業導入について「検討中」と答えた人にお聞きします。  
導入に際し、対応に時間がかかっている事・対応が難しい事は何か。(N=2)

		全 体	等 負 材 オ ン ラ イ ン 授 業 の た め の 教 師 の 負 担 が 少 な い よ う に す る	な い の 環 境 ・ シ ス テ ム が 大 学 に	生 自 宅 で の 受 講 環 境 が な い 学 生 が 多 い	業 教 職 員 向 け の オ ン ラ イ ン 授 業 実 践 ガ イ ド が な い	な い 学 生 向 け 受 講 マ ニ ュ ア ル が	せ 教 員 や 学 生 か ら の 問 い 合 わ せ 対 応
全 体		2 100.0	2 100.0	- -	- -	- -	- -	- -
地域別	北海道	-	-	-	-	-	-	-
	東北	-	-	-	-	-	-	-
	関東	2 100.0	2 100.0	-	-	-	-	-
	中部	-	-	-	-	-	-	-
	近畿	-	-	-	-	-	-	-
	中国	-	-	-	-	-	-	-
	四国	-	-	-	-	-	-	-
	九州	-	-	-	-	-	-	-

注1) 質問1で「検討中」と回答した方のみ対象

12. 質問1でオンライン授業について「実施予定なし」と答えた人にお聞きします。  
オンライン授業を実施しない理由についてお答えください。(N=1)

		全 体	オン ライ ン授 業を 行う ため の環 境・ シス テム が 大学 に ない	授 業開 始を 遅ら せて 様 子 を 見 て い る	実 施を 検討 した が学 内 の 合意 が取 れな かつ た	コ ス トが かか る （環 境・ シス テム ・講 義 動画 の撮 影な ど）	自 宅で の受 講環 境が な い 学 生が 多い
全 体		1 100.0	1 100.0	- -	- -	- -	- -
地域別	北海道	- -	- -	- -	- -	- -	- -
	東北	1 100.0	1 100.0	- -	- -	- -	- -
	関東	- -	- -	- -	- -	- -	- -
	中部	- -	- -	- -	- -	- -	- -
	近畿	- -	- -	- -	- -	- -	- -
	中国	- -	- -	- -	- -	- -	- -
	四国	- -	- -	- -	- -	- -	- -
九州	- -	- -	- -	- -	- -	- -	

注1) 質問1で「実施予定なし」と回答した方のみ対象

### 13. 質問1で「検討中」「実施予定なし」と答えた人にお聞きします。授業をオンライン化する場合、どのような効果やメリットが期待できると思いますか？ (N=3)

- ・悪天候などで交通機関がマヒして大学に通えない場合でも授業を受けることができる（東北・私立）
- ・いつでも繰り返し授業を聞ける（関東・国公立）
- ・3密を防げる（関東・国公立）

注1) 質問1で「検討中」「実施予定なし」と回答した方のみ対象

## 1 4. 新型コロナウイルスの感染拡大を機に大学の授業運営はどのように変わりましたか。また、変わりそうですか？今後の展望を含めお聞かせください。(N=100)

### オンライン化がさらに進む

- ・オンラインの授業形式が中心になると思う(関東・国公立)
- ・オンライン化が進みました。さらに進化させたいと思う(関東・私立)
- ・遠隔講義を新たな講義形式として継続する(九州・国公立)
- ・大講義室での多数の学生を収容した授業はもはや今後不可能と思われ、少人数のゼミ以外はオンライン授業が中心になるのではないかと(近畿・国公立)
- ・履修登録者が前年度より多くなった。ネットではリアルと同格なものは難しいが、ネットのほうが質問しやすかったり学習しやすいという学生もいる。欠点ばかりではなくネットの強みをどういかせるかが課題である(北海道・私立)
- ・オンデマンドのオンラインの方が好ましい講義もある(近畿・国公立)
- ・学生個々の把握が良くなった(関東・私立)
- ・これを機にリモート学習の導入が進む(関東・私立)

### オンラインと対面のハイブリッド

- ・原則対面授業。ただし、自然災害等の際にはオンライン授業を展開できるというノウハウが蓄積できた(中部・私立)
- ・オンライン授業の体験ができよかった。これから何かあったときもこのような形でできそうだ(中国・私立)
- ・Webと対面をあわせることにより、より効果的になる(近畿・私立)
- ・コロナの現状によってリモートと対面を使い分けていくことになると思う(近畿・私立)
- ・オンラインも含めた授業運営になりそう(関東・私立)
- ・オンライン授業が常態にはならないだろうが、ネットを利用した資料配付・テスト・レポート提出はより一般化するだろう(東北・私立)
- ・いずれは通常の形態に戻ると思うが、オンライン講義も選択肢として大きな割合を占めるものとなると思う(中部・国公立)
- ・講義ではオンラインでの実施に大きな問題なければ、導入も検討すると思われ。特に複数のキャンパスを持つ大学や、(多人数の)複数学科での同一内容の講義などでは、一人の教員による遠隔講義を可能とするため、これも支障なしの判断が下れば、大学運営にメリットがあり、導入が検討されるような印象。

## 1 4. 新型コロナウイルスの感染拡大を機に大学の授業運営はどのように変わりましたか。また、変わりそうですか？今後の展望を含めお聞かせください。(N=100)

### 元の対面授業に戻る

- ・いまはオンラインでやっているが、そのうち通常に戻ると思う(中部・国公立)
- ・やはり対面授業を学生も望んでいるので、早めに対面授業に戻りたい(関東・私立)
- ・なるべく学校にいる学生数を減らす為オンライン授業を実施してはいるが、根本的に変わるのは難しそう(近畿・私立)
- ・前期はオンライン授業、後期は対面授業で実習は後期に回した(東北・私立)
- ・対面に戻る可能性が高そうです。個人的には、対面もオンラインも一長一短だと思います。オンデマンドだと、留年気味な学生も含め、多くの学生ががんばって勉強しているようです。ただし、対面講義のように学生との信頼関係を築くのは難しいと感じています。昨年度以前に対面講義で顔見知りな学生たちは質問してきますが、対面講義で接したことのない学生たちは質問せずに分からないまま課題の提出をしていることが多いようです(中国・国公立)

### 授業運営に変化

- ・授業での3密を避ける対策(九州・私立)
- ・一つの授業を受けられる人数の調整や、課題などの内容の変更などがある予定です(関東・私立)
- ・マスクの着用、消毒液の活用、3密の実施が必要。午前の部、午後の部に分ける。退学者が増えそうです(関東・私立)
- ・研究室のミーティングはオンラインになる(関東・国公立)
- ・予習用のプリントなどの前渡し。確認テストのWeb回収(関東・私立)
- ・通常のルーチンの時間割が組めない(一週間ごとの時間割の作成)(北海道・私立)
- ・ペーパーレス(関東・私立)

### 先行き不透明

- ・先行き不透明(関東・私立)
- ・まだよくわからない。手探りの状態(近畿・国公立)
- ・アクティブラーニングも取り入れたオンライン講義資料作成に追われ今後の運営までは想像が働いていない状況(関東・私立)
- ・呆然としている感じである。事業継続は困難(四国・国公立)
- ・混乱中(中国・国公立)
- ・変わる部分(一般的な講義)と変えられない部分(実験・実習)がある。オンライン等に変えられる授業でも、PCや通信環境の整備などに学生間の経済的格差もあるので、とても難しい問題(関東・私立)

## 1 4. 新型コロナウイルスの感染拡大を機に大学の授業運営はどのように変わりましたか。また、変わりそうですか？今後の展望を含めお聞かせください。(N=100)

### 教職員の働き方に変化

- ・在宅勤務が多くなった（関東・私立）
- ・オンラインを主体にしたことから教員のテレワークが増えた。教授会など一同に会する機会の減少とそれを補う方法の検討（関東・私立）
- ・教務事務の体制が整っていないと、教員に大きなしわ寄せがくる（北海道・私立）
- ・圧倒的にテレワーク（中部・私立）
- ・在宅勤務（九州・私立）

### ゼミ・実習ができない

- ・講義形式の授業はオンライン化出来るのではと思うが、実験・実習形式の授業のオンライン化は難しいと思う（中国・国公立）
- ・臨床実習が制限される（中部・私立）
- ・少人数のゼミが3密でできない（関東・私立）

### その他

- ・自主的に講義に参加してる学生は問題ないが講義(非同期オンライン学習)に参加せずに課題がたまっている学生への対応。学習意欲の格差により差が大きくなりそう。単位が取れない学生は全てに躓きそうで留年や退学が増えそう（九州・国公立）
- ・本当に学力がつくのか不安（関東・私立大）
- ・今回の対応は、殆どの大学がなんちゃってオンライン講義を行っていると思われる。何が良いのか悪いのか、最終的な結末を日本中の大学で共有して今後のオンライン講義に備えるべきである（九州・私立）
- ・オンライン授業もメリットはあるものの、対面のほうが緊張感があるので効果的。またZoomなどのテレビ会議システムの契約に費用がかかり、今後も継続するとなると地方国立大学は金の工面ができないのではないかと（九州・国公立）

注1) 自由回答

注2) アンケートより一部抜粋



# 6. 調査データ

## ～国公立・私立別クロス表～

## 1. あなたの大学ではオンライン授業を実施していますか？ (N=100)

		全 体	実 施 し て い る	検 討 中	実 施 予 定 な し
全 体		100 100.0	97 97.0	2 2.0	1 1.0
大学別	国公立	36 100.0	34 94.4	2 5.6	— —
	私立	64 100.0	63 98.4	— —	1 1.6

## 2. オンライン授業はいつから実施していますか？ (N=97)

		全 体	2 0 2 0 年 2 月 以 前	2 0 2 0 年 3 月	2 0 2 0 年 4 月	2 0 2 0 年 5 月	2 0 2 0 年 6 月
全 体		97 100.0	2 2.1	2 2.1	56 57.7	35 36.1	2 2.1
大学別	国公立	34 100.0	1 2.9	- -	24 70.6	9 26.5	- -
	私立	63 100.0	1 1.6	2 3.2	32 50.8	26 41.3	2 3.2

注1) 質問1で「実施している」と回答した方のみ対象

## 3. オンライン授業の導入にあたりどのような準備・対応を行いましたか？ (N=97)

		全 体	教 職 員 向 け 実 践 マ ニ ュ ア ル 作 成	教 職 員 を 対 象 と し た オ ン ラ イ ン 授 業 講 習 会	前 期 授 業 の 日 程 変 更	学 生 向 け 受 講 マ ニ ュ ア ル 作 成	学 生 の 相 談 窓 口	オ ン ラ イ ン 授 業 開 講 前 の 履 修 指 導	オ ン ラ イ ン 授 業 を 行 う た め の 大 学 側 の 環 境 ・ シ ス テ ム 整 備	学 生 の 保 護 者 に 対 す る 案 内	学 生 の 受 講 環 境 整 備 に 関 す る 費 用 支 援 ( * 1 )
全 体		97 100.0	72 74.2	58 59.8	57 58.8	56 57.7	38 39.2	37 38.1	27 27.8	20 20.6	17 17.5
大学別	国公立	34 100.0	24 70.6	20 58.8	21 61.8	17 50.0	14 41.2	15 44.1	11 32.4	2 5.9	4 11.8
	私立	63 100.0	48 76.2	38 60.3	36 57.1	39 61.9	24 38.1	22 34.9	16 25.4	18 28.6	13 20.6

(\*1)オンライン授業を受講するためのネット環境・PC等

注1) 質問1で「実施している」と回答した方のみ対象  
注2) 複数回答



## 5. オンライン授業の形式はどのようなものですか？ (N = 97)

		全 体	授業録画配信（オンデマンド）型	ライブ授業配信（同時双方向型）	資料配信	ウェブ会議システムを使いディスカッションを行う	チャット／掲示板などで質問や議論を行う	自習中心
全 体		97 100.0	75 77.3	74 76.3	61 62.9	35 36.1	24 24.7	17 17.5
大学別	国公立	34 100.0	28 82.4	29 85.3	24 70.6	15 44.1	9 26.5	6 17.6
	私立	63 100.0	47 74.6	45 71.4	37 58.7	20 31.7	15 23.8	11 17.5

注1) 質問1で「実施している」と回答した方のみ対象  
注2) 複数回答

## 6. 実習系の授業はどのように実施されていますか？ (N = 97)

		全 体	学 校 で 対 面 で 行 う	オ ン ラ イ ン で 行 う	実 施 し な い	そ の 他
全 体		97 100.0	36 37.1	35 36.1	31 32.0	6 6.2
大学別	国公立	34 100.0	12 35.3	11 32.4	11 32.4	4 11.8
	私立	63 100.0	24 38.1	24 38.1	20 31.7	2 3.2

注1) 質問1で「実施している」と回答した方のみ対象  
注2) 複数回答

## 7. 講義系・実習系の定期試験はどのように行う予定ですか？ (N = 97)

講義系		全体	レポートを提出する	オンラインテスト形式で行う	通常通り行う	未定	実施しない
全体		97 100.0	51 52.6	35 36.1	20 20.6	18 18.6	6 6.2
大学別	国公立	34 100.0	19 55.9	14 41.2	9 26.5	4 11.8	1 2.9
	私立	63 100.0	32 50.8	21 33.3	11 17.5	14 22.2	5 7.9

注1) 質問1で「実施している」と回答した方のみ対象  
 注2) 複数回答



## 7. 講義系・実習系の定期試験はどのように行う予定ですか？ (N = 97)

実習系		全 体	未 定	実 施 し な い	通 常 通 り 行 う	オ ン ラ イ ン 上 で 行 う	そ の 他
全 体		97 100.0	38 39.2	35 36.1	17 17.5	8 8.2	1 1.0
大学別	国公立	34 100.0	11 32.4	15 44.1	6 17.6	2 5.9	1 2.9
	私立	63 100.0	27 42.9	20 31.7	11 17.5	6 9.5	— —

注1) 質問1で「実施している」と回答した方のみ対象  
注2) 複数回答

## 8. 学生の受講環境はどれが一番多いですか？ (N = 97)

		全 体	P C	ス マ ホ	タ ブ レ ッ ト
全 体		97 100.0	82 84.5	13 13.4	2 2.1
大学別	国公立	34 100.0	31 91.2	3 8.8	— —
	私立	63 100.0	51 81.0	10 15.9	2 3.2

注1) 質問1で「実施している」と回答した方のみ対象

## 9. オンライン授業の実施に際し、使用しているウェブ会議システムや授業支援システムを教えてください。(N =97)

		全 体	Z O O M	T e a m s	M G e o o g l e	W C e i b s e c x o	そ の 他
全 体		97 100.0	73 75.3	23 23.7	14 14.4	6 6.2	5 5.2
大学別	国公立	34 100.0	27 79.4	8 23.5	6 17.6	2 5.9	2 5.9
	私立	63 100.0	46 73.0	15 23.8	8 12.7	4 6.3	3 4.8

注1) 質問1で「実施している」と回答した方のみ対象  
注2) 複数回答

## 10. 実際にオンライン授業を実施してみて大変だったこと、困ったことは何でしたか。

(N = 97)

### ICT環境整備不足

- ・自宅の通信環境状況や所持している端末によって学生の受講状況が大きく左右される（システムになかなか入れない、途中で授業の画面・音声ストップする、そのような状況になった場合の出欠管理と課題提出方法など）（北海道・私立）
- ・スマホしかない学生への対応（関東・私立）
- ・接続の悪い学生や途切れたりすること（近畿・私立）
- ・学生の回線が不安定。受講できない学生のフォロー（中部・国公立）
- ・学生のデバイス環境が多様で、環境を整えるために最初は質問対応に多くの時間を費やした（中部・国公立）
- ・講義日以外のときも学生からの対応をしなければならず、事務量は増えた（北海道・私立）
- ・はじめのころシステムのトラブルが多かった 学生からの質問がたくさんあり対応が大変だった（中国・私立）
- ・パソコンを持っていない学生がいること。連絡がメールやサイトを利用するが学生がそれを見ないこと（中部・私立）
- ・サーバーの不具合（関東・私立）
- ・学生、教員個々のシステム環境の相違による不具合（関東・私立）
- ・タイムラグが多少あること（関東・私立）

### 教材作成・授業準備

- ・講義資料の作成に追われている（九州・私立）
- ・録画の時準備に思ったより時間がかかった。最初はシステムが上手く作動せず、撮り直しをした先生もいた（関東・私立）
- ・今までと全く違う。準備が莫大に時間がかかる（中部・私立）
- ・板書できないので、事前に板書代わりの文書ファイルや資料ファイルを準備するのに大変時間がかかった（近畿・国公立）
- ・資料作り、動画撮影、課題添削（関東・私立）
- ・スライドへの音声の吹き込み（近畿・国公立）
- ・動画、音声などのコンテンツ作成が面倒（近畿・私立）
- ・授業動画の作成（東北・国公立）
- ・カリキュラムの組み方の見直し、先生方のソフトの扱い方のマニュアル整備等（東北・私立）
- ・学生の希望により動画と講義ノートのアップロードをしています。数式がたくさん出てくる講義ノートを手書きではなく作るのにはひどく時間がかかります。動画作成も録画の失敗などで撮り直したりすることが多く大変です。動画のトリミングにも手間がかかります（中国・国公立）
- ・準備とフォローアップで万年サービス残業の重労働。体を壊しそうである（関東・国公立）

## 10. 実際にオンライン授業を実施してみて大変だったこと、困ったことは何でしたか。

(N = 97)

### 教職員の対応力

- ・ 教員の授業レベルの違い（中部・私立）
- ・ 教員がパソコンに精通していない（関東・私立）
- ・ 教材の出来映えにバラツキがあること（関東・私立）
- ・ カメラをオフにされるとパソコンに向かって独りで喋っている形になるのでペース配分等が難しい（近畿・私立）
- ・ 資料のどこを指して話しているかがわからない。ポインタがうまく使えない（近畿・国公立）
- ・ 新しい機器、ソフトに慣れること（近畿・国公立）
- ・ 職員のリテラシー向上（中部・私立）
- ・ 教員の理解を得るのが大変（近畿・国公立）

### 学生の理解度をいかに図るか

- ・ 学生の理解度など、表情から読めない（関東・私立）
- ・ 授業態度がわからない（九州・私立）
- ・ 学生の反応が分かり辛い（近畿・私立）
- ・ お互い間合いがとれない（四国・国公立）
- ・ 学生の息遣いがわからず、コミュニケーションがとりにくい（中国・国公立）
- ・ 講義内容が学生に定着しているか（中部・私立）
- ・ 実験が主なのでオンライン授業では内容はほとんど理解できていないと思う。秋の通常の授業に期待したい（関東・私立）
- ・ 特に受講生の多い講義では、学生が正しく理解しているか分からないことや通信環境が安定しない学生への今後の対応をどうすべきかなど（関東・私立）
- ・ 人数が多い講義ではひとりひとりに目が届かなかった（関東・私立）
- ・ 通信速度が遅くなるとスムーズにやり取りができない。理解ができているかどうかの雰囲気掴みづらい（近畿・私立）

## 10. 実際にオンライン授業を実施してみて大変だったこと、困ったことは何でしたか。

(N = 97)

### その他

- ・理系の実験系なのでオンラインに出来ない実験も多く苦慮している（関東・私立）
- ・出席の把握（四国・国公立）
- ・出席管理（関東・私立）
- ・全員が初めてのことで分からないことだらけだったこと（関東・私立）
- ・学生の質問が多い。課題のチェックが大変（関東・私立）
- ・学生側も動画だとTVを流し見する感覚で見えてしまうようで集中度が低い。対面だとリアルタイムで学生の身体動作レベルのレスポンスを見て補足説明を増やしたりおさらいをしたりといったフォローを入れたが、ズームで顔だけ映しても判別困難なので、進度はさくさく進むが提供する教育サービスの質は低下している。そのわりに学生には毎回課題を出すよう学校当局に要請されるので、学生も教員も作業量ばかり増えて効率が悪い。教員の自由度を上げて授業のやり方を工夫させてほしいが、学校当局は強迫的なまでに形式の管理を強めたがって（パニックで不安なのだと思う）、事前に指示されたやり方しかさせてもらえない。教員としては学校側から使用ソフト・ファイル形式等の指定があったため以前の教材を流用できず、90分1コマの授業の準備に15時間ほどかかる。機材購入も自腹だし、報酬は1コマあたりの従来通りなので到底ペイしない。雇用側のコンプラ精神の無さにうんざりしたので近く転職する予定（関東・私立）

注1) 自由回答

注2) アンケートより一部抜粋

1 1. 質問1でオンライン授業導入について「検討中」と答えた人にお聞きします。  
導入に際し、対応に時間がかかっている事・対応が難しい事は何か。(N=2)

		全 体	オンライ ン授業 のた めの 教材 作り よ うに する 等	オン ライ ン授 業を 行う ため の環 境・ シス テム が大 学に ない	自 宅 で の受 講環 境が ない 学生 が多 い	教 職 員 向 け の オン ライ ン授 業実 践ガ イド がない	学 生 向 け 受 講マ ニ ュ アル がない	教 員 や 学 生 か ら の 問 い 合 わ せ 対 応
全 体		2 100.0	2 100.0	- -	- -	- -	- -	- -
大 学 別	国 公 立	2 100.0	2 100.0	- -	- -	- -	- -	- -
	私 立	- -	- -	- -	- -	- -	- -	- -

注1) 質問1で「検討中」と回答した方のみ対象

12. 質問1でオンライン授業について「実施予定なし」と答えた人にお聞きします。  
 オンライン授業を実施しない理由についてお答えください。(N=1)

		全 体	オン ライ ン授 業を 行 うた め の環 境・ シ ス テ ム が 大 学 に な い	授 業 開 始 を 遅 ら せ て 様 子 を 見 て い る	実 施 を 検 討 し た が 学 内 の 合 意 が 取 れ な か っ た	講 義 動 画 の 撮 影 な ど ・ 環 境 ・ シ ス テ ム ・ コ ス ト が か か る	自 宅 で の 受 講 環 境 が な い 学 生 が 多 い
全 体		1 100.0	1 100.0	- -	- -	- -	- -
大学別	国公立	- -	- -	- -	- -	- -	- -
	私立	1 100.0	1 100.0	- -	- -	- -	- -

注1) 質問1で「実施予定なし」と回答した方のみ対象



### 13. 質問1で「検討中」「実施予定なし」と答えた人にお聞きします。授業をオンライン化する場合、どのような効果やメリットが期待できると思いますか？ (N=3)

- ・悪天候などで交通機関がマヒして大学に通えない場合でも授業を受けることができる（東北・私立）
- ・いつでも繰り返し授業を聞ける（関東・国公立）
- ・3密を防げる（関東・国公立）

注1) 質問1で「検討中」「実施予定なし」と回答した方のみ対象

## 1 4. 新型コロナウイルスの感染拡大を機に大学の授業運営はどのように変わりましたか。また、変わりそうですか？今後の展望を含めお聞かせください。(N=100)

### オンライン化がさらに進む

- ・オンラインの授業形式が中心になると思う(関東・国公立)
- ・オンライン化が進みました。さらに進化させたいと思う(関東・私立)
- ・遠隔講義を新たな講義形式として継続する(九州・国公立)
- ・大講義室での多数の学生を収容した授業はもはや今後不可能と思われ、少人数のゼミ以外はオンライン授業が中心になるのではないかと(近畿・国公立)
- ・履修登録者が前年度より多くなった。ネットではリアルと同格なものは難しいが、ネットのほうが質問しやすかったり学習しやすいという学生もいる。欠点ばかりではなくネットの強みをどういかせるかが課題である(北海道・私立)
- ・オンデマンドのオンラインの方が好ましい講義もある(近畿・国公立)
- ・学生個々の把握が良くなった(関東・私立)
- ・これを機にリモート学習の導入が進む(関東・私立)

### オンラインと対面のハイブリッド

- ・原則対面授業。ただし、自然災害等の際にはオンライン授業を展開できるというノウハウが蓄積できた(中部・私立)
- ・オンライン授業の体験ができよかった。これから何かあったときもこのような形でできそうだ(中国・私立)
- ・Webと対面をあわせることにより、より効果的になる(近畿・私立)
- ・コロナの現状によってリモートと対面を使い分けていくことになると思う(近畿・私立)
- ・オンラインも含めた授業運営になりそう(関東・私立)
- ・オンライン授業が常態にはならないだろうが、ネットを利用した資料配付・テスト・レポート提出はより一般化するだろう(東北・私立)
- ・いずれは通常の形態に戻ると思うが、オンライン講義も選択肢として大きな割合を占めるものとなると思う(中部・国公立)
- ・講義ではオンラインでの実施に大きな問題なければ、導入も検討すると思われ。特に複数のキャンパスを持つ大学や、(多人数の)複数学科での同一内容の講義などでは、一人の教員による遠隔講義を可能とするため、これも支障なしの判断が下れば、大学運営にメリットがあり、導入が検討されるような印象。

## 1 4. 新型コロナウイルスの感染拡大を機に大学の授業運営はどのように変わりましたか。また、変わりそうですか？今後の展望を含めお聞かせください。(N=100)

### 元の対面授業に戻る

- ・いまはオンラインでやっているが、そのうち通常に戻ると思う(中部・国公立)
- ・やはり対面授業を学生も望んでいるので、早めに対面授業に戻りたい(関東・私立)
- ・なるべく学校にいる学生数を減らす為オンライン授業を実施してはいるが、根本的に変わるのは難しそう(近畿・私立)
- ・前期はオンライン授業、後期は対面授業で実習は後期に回した(東北・私立)
- ・対面に戻る可能性が高そうです。個人的には、対面もオンラインも一長一短だと思います。オンデマンドだと、留年気味な学生も含め、多くの学生ががんばって勉強しているようです。ただし、対面講義のように学生との信頼関係を築くのは難しいと感じています。昨年度以前に対面講義で顔見知りな学生たちは質問してきますが、対面講義で接したことのない学生たちは質問せずに分からないまま課題の提出をしていることが多いようです(中国・国公立)

### 授業運営に変化

- ・授業での3密を避ける対策(九州・私立)
- ・一つの授業を受けられる人数の調整や、課題などの内容の変更などがある予定です(関東・私立)
- ・マスクの着用、消毒液の活用、3密の実施が必要。午前の部、午後の部に分ける。退学者が増えそうです(関東・私立)
- ・研究室のミーティングはオンラインになる(関東・国公立)
- ・予習用のプリントなどの前渡し。確認テストのWeb回収(関東・私立)
- ・通常のルーチンの時間割が組めない(一週間ごとの時間割の作成)(北海道・私立)
- ・ペーパーレス(関東・私立)

### 先行き不透明

- ・先行き不透明(関東・私立)
- ・まだよくわからない。手探りの状態(近畿・国公立)
- ・アクティブラーニングも取り入れたオンライン講義資料作成に追われ今後の運営までは想像が働いていない状況(関東・私立)
- ・呆然としている感じである。事業継続は困難(四国・国公立)
- ・混乱中(中国・国公立)
- ・変わる部分(一般的な講義)と変えられない部分(実験・実習)がある。オンライン等に変えられる授業でも、PCや通信環境の整備などに学生間の経済的格差もあるので、とても難しい問題(関東・私立)

## 1 4. 新型コロナウイルスの感染拡大を機に大学の授業運営はどのように変わりましたか。また、変わりそうですか？今後の展望を含めお聞かせください。(N=100)

### 教職員の働き方に変化

- ・在宅勤務が多くなった（関東・私立）
- ・オンラインを主体にしたことから教員のテレワークが増えた。教授会など一同に会する機会の減少とそれを補う方法の検討（関東・私立）
- ・教務事務の体制が整っていないと、教員に大きなしわ寄せがくる（北海道・私立）
- ・圧倒的にテレワーク（中部・私立）
- ・在宅勤務（九州・私立）

### ゼミ・実習ができない

- ・講義形式の授業はオンライン化出来るのではと思うが、実験・実習形式の授業のオンライン化は難しいと思う（中国・国公立）
- ・臨床実習が制限される（中部・私立）
- ・少人数のゼミが3密でできない（関東・私立）

### その他

- ・自主的に講義に参加してる学生は問題ないが講義(非同期オンライン学習)に参加せずに課題がたまっている学生への対応。学習意欲の格差により差が大きくなりそう。単位が取れない学生は全てに躓きそうで留年や退学が増えそう（九州・国公立）
- ・本当に学力がつくのか不安（関東・私立大）
- ・今回の対応は、殆どの大学がなんちゃってオンライン講義を行っていると思われる。何が良いのか悪いのか、最終的な結末を日本中の大学で共有して今後のオンライン講義に備えるべきである（九州・私立）
- ・オンライン授業もメリットはあるものの、対面のほうが緊張感があるので効果的。またZoomなどのテレビ会議システムの契約に費用がかかり、今後も継続するとなると地方国立大学は金の工面ができないのではないかと（九州・国公立）

注1) 自由回答

注2) アンケートより一部抜粋

## 大学におけるオンライン授業の緊急導入に関する調査報告書

---

---

デジタル・ナレッジ 調査

検索

2020年7月発行

発行：株式会社デジタル・ナレッジ「eラーニング戦略研究所」  
〒110-0005 東京都台東区上野5丁目3番4号 eラーニング・ラボ 秋葉原

Tel. 03-5846-2131 / Fax. 03-5846-2132

---

---

(禁無断転載・転用・複写)

eラーニング戦略研究所  
eLearning Strategy Research Institute  
株式会社デジタル・ナレッジ <https://www.digital-knowledge.co.jp/>